

レタスで菌核病が発生しています。

防除を徹底しましょう！

[現在の状況]

10月上旬現在，一部のレタス栽培圃場で菌核病の発生（一部の株で菌核が形成）が認められ，平年より多い発生である（表1）。

9月下旬から曇雨天の日が多く，菌核病の発生を助長する条件であった。気象予報（10月8日発表）によると，向こう1か月の降水量は平年より多く，日照時間は少ないと予想され，菌核病の発生に適した条件である。

表1 レタスにおける菌核病の発生状況

時期	発病株率（％）		発生地点率（％）	
	本年値（順位） ¹⁾	平年値	本年値（順位） ¹⁾	平年値
9月下旬	0.2(1)	0.01	8(1)	1
10月上旬	0.8(1)	0.4	19(5)	21

1) 9月下旬は過去11年間，10月上旬は過去7年間の順位を示す。

[防除対策]

菌核病の発生を認めた場合は，菌核が形成される前に発病株を圃場外に持ち出し，適切に処分する。

多発すると防除が困難となるので初期防除を徹底する。また，降雨が続く場合には適宜防除を実施する。

薬剤散布は，薬液が葉裏や株元にも届くよう丁寧に行い，薬剤を散布する際は収穫前日数，使用回数に十分注意する（表2）。また，周辺作物等へ飛散（ドリフト）しないよう十分注意して散布する。

排水不良等は発生を助長するので，排水対策等を行う。

表2 レタス菌核病に登録のある主な農薬（平成22年10月13日現在）

薬剤名	希釈倍率 （倍）	収穫前日数 （日）	本剤の使用回数 （回）	有効成分 （有効成分の総使用回数：回）
スミブレード水和剤 ¹⁾	1,000～2,000	7	5	ジ・イトフェンガブ [®] (5) プロシト [®] (5)
スミレックス水和剤 ¹⁾	1,000～2,000	7	5	プロシト [®] (5)
カンタスドライフロアブル	1,000～1,500	14	1	ホスカド [®] (1)

1) スミブレード水和剤とスミレックス水和剤は，非結球レタスには農薬登録がないので注意して下さい。農薬を使用する際は，農薬ラベルに記載の使用方法，注意事項等を確認のうえ使用して下さい。